投稿規定

投稿者の資格

筆頭者は会員に限る。共同研究者に非会員のある場合は，１編に付き掲載料1,000円申し受ける。

共同発表者は原則として７名以内とする。

原稿の分類と概要

投稿論文は臨床検査・公衆衛生検査等の分野で他誌，他学会等関係出版物に未発表のものに限る。

〔総説〕臨床検査の総体的，あるいは専門的な内容，管理運営等について編集委員会から依頼する。専用原稿用紙24枚以内，図・表・写真など10枚以内，刷り上がり６頁を限度とする。

〔原著〕検査法などオリジナルな内容のもの。専用原稿用紙24枚以内，図・表・写真など10枚以内，刷り上がり６頁を限度とする。

〔研究〕検査法の比較，臨床経過との対比，検査法・機器の改良等に関するもの。専用原稿用紙20枚以内，図・表・写真など５枚以内，刷り上がり５頁を限度とする。

〔症例〕臨床例を中心として臨床検査をまとめたもの。専用原稿用紙16枚以内，図・表・写真など５枚以内，刷り上がり４頁を限度とする。

〔試薬と機器〕既成キット，機械・器具，試薬を検討したもの。専用原稿用紙16枚以内，図・表・写真など５枚以内，刷り上がり４頁を限度とする。

以上の原著，研究，症例，試薬と機器の論文は５個以内のkey words（英語も可）を指定すること。

〔精度管理報告〕岡山県臨床技師会主催の精度管理調査の報告。専用原稿用紙24枚以内，刷り上がり６頁を限度とする。

〔技術解説〕日臨技，他学会などで確認された技法，最新技術などの紹介。専用原稿用紙16枚以内，図・表・写真など５枚以内，刷り上がり４頁を限度とする。

〔クイズ〕REVERSED CPC，各種臨床検査関連クイズ。専用原稿用紙８枚以内，刷り上がり２頁を限度とする。

〔文献紹介〕海外および国内の文献から臨床検査に関する情報をわかりやすく紹介した記事。専用原稿用紙４枚以内，刷り上がり１頁を限度とする。

〔トピックス〕臨床検査に取り入れたい新しい基礎の紹介。専用原稿用紙16枚以内，図・表・写真など５枚以内，刷り上がり４頁を限度とする。

〔私のアイデア〕検査室で使用する機器，器具などに対するアイデアや工夫。専用原稿用紙４枚以内，刷り上がり１頁を限度とする。

〔質問〕検査法，技師法などに関するすべてのもの。専用原稿用紙２枚以内，解答を含み刷り上がり２頁を限度とする。必ず勤務先，氏名を明記のこと。ただし，紙上匿名は可。

〔講習会・研修会レポート〕日臨技・中国地区技師会・岡臨技主催の講習会・研修会についてのレポート。専用原稿用紙８枚以内，図・表・写真を含めて刷り上がり２頁を限度とする。

〔会員だより〕リラックスした自由なもので，建設的な意見，見聞，体験，感想など広義の投書欄に相当するもの。専用原稿用紙4枚以内，刷り上がり２頁を限度とする。

〔委員会報告〕各委員会の活動報告。24枚以内，図・表・写真を含めて６頁を限度とする。

〔information〕岡臨技の関与する講習会，研修会などの会員への全般的な案内。

〔特集〕必要に応じて編集委員会で協議し決定する。

〔その他〕四駒漫画，コーヒーブレイク，会報など上記に該当しないもの。特に規定は設けないが編集委員会から依頼する。

原稿の取り扱い

論文の採否，掲載順序，分類等は編集委員会が決定する。

原稿（図表）は原則として返却しない。

校正は総説，原著，研究，機器と試薬，精度管理報告については１校のみ著者校正とし，著者は原稿に大幅な加筆・挿入をせず３日以内に校正を返送されたい。他については編集委員に一任する。

制限枚数を越える原稿は，書き直しを要請するか，あるいは編集委員で調整することがある。

Presented by Medical*Online

執筆要項

1　**様式**：投稿用組見本（研究用・精度管理報告書用・抄録用・講演報告書用）を，岡山県臨床検査技師会ホームページよりダウンロードして，各組見本に従って製作する。ダウンロードできない時は，事務所・出版部員・各学術理事に連絡して，E-Mailで組見本を取り寄せて，同様の作業をする。

2　**原稿**：本文・表・図の順にまとめ，表と図の挿入個所を原稿の欄外に明記する。写真は図として扱うので，図として通し番号をつける。

3　**論文の形式**：内容により若干異なるが，代表的な形としては

Key Words
はじめに
材料および方法
結果
考察
まとめ
参考文献　の順で書く。

4　**記述・用語について**

1）一般用字，用語：専門用語以外は，常用漢字，現代かなづかい，横書きとし，数字は算用数字とする。

2）数字，欧文：数字，欧文は１文字の場合は全角で，２文字以上の場合は半角で入力する。菌名などイタリック体で標記する必要のあるものについては，下線をつけ指定する。

3）薬剤名：薬剤名は，一般名を使用し，商品名を用いない。

4）専門用語：特殊なものを除き，原則として和文とする。（日本語化しているものはカタカナとする）

5）欧文，略語：特定専門分野の欧文や略語を使用する場合は，その初出で，和文，欧文，（略語）の順に書く（固有名詞以外は小文字）。関連領域では周知の略語でも乱用は避ける。

6）量衡の単位は原則としてSI単位とする。

7）表・図および写真：表および図には必ず表題をつけ，表題は表の場合は表の上に，図の場合は図の下に書く。表はできるだけ罫線をはぶきシンプルにする。**表・図**はMSゴシック体にする。顕微鏡写真には倍率をつける。

本文の表・図の記述はMSゴシック体にする。

5　**文献**

引用文献の記載順序，句読点は下記のようにする。（雑　誌）著者名：文献名，誌名 発表年；巻数；通巻始頁～通巻.

（例）Cines DB *et al.*：Heparin-associated thronbocytopenia，NEJM 1980；303：788-795

（単行本）著者名：表題，書名，始頁～終頁，発行所，発行年

1）著者名が複数の場合は筆頭者のみとし，ほか，または*et al.*とする。

2）雑誌の場合，略名は日本医学図書館協会編“日本医学雑誌略名表”およびIndex medicusの記載による。

6　**web掲載について**

本誌の内容は岡山県臨床検査技師会のホームページと外部のサイトにてweb掲載いたします。

7　**送付先**

〒700-0945 岡山市南区新保685-13-101
（一社）岡山県臨床検査技師会事務所
「岡山医学検査」編集係　　まで
E-Mail：okaringi.101@gmail.com
HP：http://www.okaringi.or.jp/

Presented by Medical*Online